



ウレタンフォームで彫刻をつくらう  
ものづくり教室

赤名公民館主催の「ものづくり教室」が、赤名農村環境改善センターで開催されました。

講師は美術教員の経験を持ち、自身も創作活動が続けている、地域おこし協力隊の十鳥美代子さん。参加者は、スポンジのように軽く加工しやすい、ウレタンフォームを使った作品づくりに挑戦しました。

スプレー缶から出したウレタンを好きなように成形し、絵具で着色。参加者は好きなキャラクターを模したり、様々な形を組み合わせたりと、思い思いの作品づくりに集中していました。



リボンや毛糸を使いイメージを形にします

6.14  
土



迫力ある舞で魅了  
泥落とし神楽共演大会

谷自治振興会主催の「泥落とし神楽共演大会」が谷体育館で開催されました。

谷地区を拠点に活動する飯南神楽団、原田神楽団(安芸高田市)、東山神楽団(北広島町)の3団体が2演目ずつ上演。会場は県内外から訪れた神楽ファンや家族連れで、朝早くから賑わいました。

地域住民による天ぷらやうどんなどの出店も楽しみの一つ。来場者は神楽を鑑賞しながら、手作りの味に舌鼓を打ち、谷地区での一日を楽しみました。



300人を超える来場者

6.15  
日



銀山街道を守る  
銀山街道草刈り整備

「銀山街道を訪ねる会」は、江戸時代に石見銀山で採掘された銀を、大森から赤名峠を越え、尾道まで運んだ「銀山街道」の価値を再認識し、地域活性化のきっかけとすることを目的に活動。ガイドの育成や、街道の整備に取り組みんでいます。

今回の草刈り整備では、会員10名が下赤名に残る銀山街道約1キロメートルの草刈りを実施。生い茂る草を丁寧に刈り取っていました。



熱心な整備活動により銀山街道は当時の面影を残しています

6.22  
日



笑いを交えて「終活」を考える  
劇団おば座公演

飯南町頼原地域婦人会主催の劇団おば座の公演が行われました。

はじめに、飯南町地域包括支援センターが認知症や人生会議に関する講話を行い、もしもの時のために、希望する医療やケアを事前に話し合っておくことの重要性を説明。

自分なりの幸せな人生の幕引きを考えることをテーマにしたおば座の公演が行われ、来場した約60人の参加者は笑いや涙を交えて楽しめました。

参加者のひとり「楽しい公演だった。自分の生き方を考えるきっかけになった」と話しました。



公演の最後には歌とダンスを披露

6.22  
日



夜のまちを散策  
第28回halfいちり  
ナイトウォークラリー

志々公民館主催の「halfいちりナイトウォークラリー」がさつき会館とその周辺を会場に開催されました。

志々地区内外から23チーム92人が参加。チームごとに、さつき保育所や明眼寺などのポイントを目指し、約2キロメートルのコースを歩きました。

ポイントにはクイズやゲームが用意され、子どもから大人まで楽しみながら交流。参加者は、昼間とは少し雰囲気の違いの夜のまちを、仲間や家族と笑顔で散策していました。



志々公民館運営協議会の委員などが盛り上げます

6.27  
金



体と心をリフレッシュ  
幼児親子対象サロ  
ン「どんぐりクラブ」

頼原公民館主催の幼児親子対象サロン「どんぐりクラブ」が、交流センターとんぼらで開催され、町内外から親子連れが参加しました。

講師は(一社)体力メンテナンス協会認定指導士、助産師の中島春奈さん。呼吸の仕方や姿勢が健康に与える影響を、紙芝居やバランスボールを使った体操を通して学びました。

参加者は「バランスボールは年齢を問わず楽しんで運動できるのが良い。子どももずっと笑顔だった」と話していました。



音楽に合わせたストレッチやダンスで盛り上がりました

6.29  
日



瀬戸山城の魅力を紹介  
お城EXPO in松江

全国のお城ファンの交流を目的に、「お城EXPO in松江」がくにびきメッセ(松江市)で開催されました。

毎年全国各地で開催され、お城ファンに人気のイベント。(一社)飯南町観光協会が参加し、瀬戸山城(赤名の魅力を紹介しました。

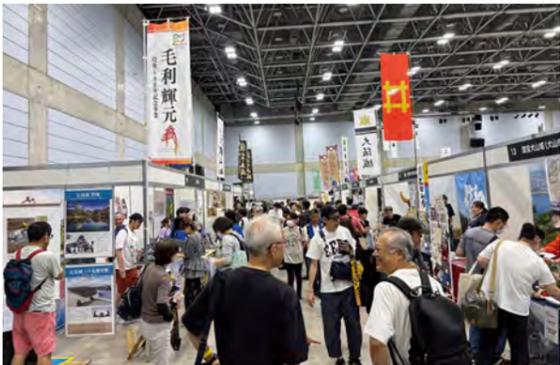
来場者は俳優の高橋英樹さんによるトークショーや、全国各地の名城のブースを楽しんでいました。

お城EXPO in松江限定として作成された瀬戸山城の御城印は、飯南高校書道同好会の生徒が揮毫。100枚の御城印は、完売となる人気でした。



月山富田城(安来市)とともに、尼子十旗 赤穴瀬戸山城を紹介

6.28  
土



全国からお城ファンが集結



1枚ずつ丁寧に書き上げた御城印。「大変だったけど、楽しく書くことができました」